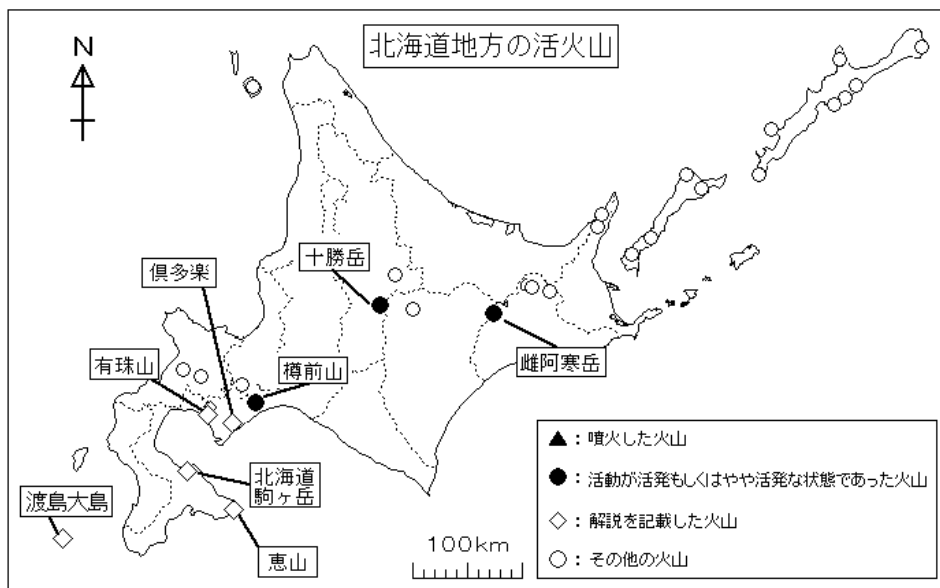


北海道地方の火山活動解説資料（平成 18 年 5 月）

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



雌阿寒岳では、3月21日の噴火直後に比べ噴煙活動は低下傾向にあるものの、依然活発な状態が続いています。十勝岳、樽前山では引き続きやや活発な状態が続いています。

●雌阿寒岳 [活発な状況]

ポンマチネシリ山頂の赤沼火口及び北西側斜面の噴煙活動は、3月21日の噴火直後に比べ低下傾向にあるものの、活発な状態が続いています。5月9日～10日に火山性地震が多発し、振幅の小さな火山性微動も観測されました。火山活動は全体として低下してきていますが、依然活発な状態ですので、山頂火口近傍及び北西側斜面では注意が必要です。

●十勝岳 [やや活発な状況]

62-2 火口は噴煙活動が活発で高温の状態が続いていると推定されます。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

●樽前山 [やや活発な状況]

A火口やB噴気孔群は高温の状態が続いており、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

◇倶多楽 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態です。

◇有珠山 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態です。

◇北海道駒ヶ岳 [静穏な状況]

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003年9月以降見られている昭和4年火口からの弱い噴気は引き続き観測されています。

◇恵山 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態です。

◇渡島大島 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態です。